

東京都調布市  
1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

1 子ども一人一人を伸ばす

ICTの活用により、各児童・生徒が自分のペースで自由に学習を進められ、学力・能力を最大限に伸ばす個別最適な学びが可能となります。

2 つなぐ

協働学習ツール等クラウドサービスの導入により、ICT環境が児童・生徒や教職員同士の意見・知識の共有の場となります(協働的な学び)。

LTE端末の活用により、オンライン交流を含む校外への学びの広がり、不登校児童・生徒等への多様な学びの機会を提供します。

3 はぐくむ

魅力的で安全、特別な支援に役立つアプリケーションを活用し、児童・生徒の学びへの意欲をはぐくみます。

安全なインターネット上での情報の検索・選択方法や、情報セキュリティやプライバシーについての理解を深め、現代社会で必要とされるデジタルリテラシーを身につけます。

2. GIGA第1期の総括

Wi-Fi環境がない場所でも通信が可能なLTEモデル端末の導入により、学校内だけでなく校外授業や家庭学習においてもICTを活用できる環境が定着しました。これにより、学習の継続性・多様性が確保され、どこでも学べる環境が実現しました。

また、クラウドサービスの活用が進み、教材提示、意見の発表、情報の共有および比較が効率的に行われました。その結果、協働的な学びが促進され、生徒間の交流や学びの深化が見られたほか、教員間の情報共有も円滑になり業務の効率化につながりました。

一方で、公平性の観点から、学校間及び教員間、ひいては児童・生徒間で生じたICT活用の差を平準化し、調布市全体のICT活用を底上げする必要があります。そのため、ICTサポーターによる訪問支援の拡充や、教員が児童・生徒と同じ端末を授業で使用できるよう予備端末を充実させることを検討します。

3. 1人1台端末の利活用方策

1 学習者用端末の積極的活用

学習者用端末の適切な更新により児童・生徒1人に1台の端末環境を引き続き整備してまいります。ICTを日常的な学びに活用することで、児童・生徒が情報を収集及び判断し、考えをまとめて発表・表現する力を養うとともに、不登校児童・生徒等の学びの機会を広く保障します。

2 個別最適・協働的な学びの充実

ICT環境を駆使して個別学習と共同学習を拡充します。学習アプリとデータを活用して個別進度に応じた支援とフィードバックを提供し、オンラインツールでの意見交換や共同作業を促進します。校外学習や他校とのオンライン交流を推奨し、学習の幅を広げます。

3 ICT活用の意識とスキルの向上

教職員と児童生徒のICT活用意識とスキル向上を目指し、定期的なICT活用研修を実施します。成功事例を共有し、広く実践可能なノウハウを提供することで、ICT環境を生かした学びの充実を推進します。